

令和4年度京都市立学校教員採用選考試験（動画）

「現職教員の声（中学校）」発言概要

進行役	<p>こんにちは。</p> <p>私は京都市教育委員会教職員人事課の石橋と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。本日は京都市の教員を目指す方々に向けて、現役教員の先生方のお話をお聞かせいただきたいと思います。では早速、「学校名」と「職名」、「お名前」をお願いします。</p>
西村	<p>勸修中学校で教諭をしている西村優利と申します。よろしくお願い申し上げます。</p>
進行役	<p>ではまず初めに、教員を志したきっかけについて、教えてください。</p>
西村	<p>私が教員を志すきっかけとなったのが、私が高校生の時に出会った高校の担任の先生がきっかけとなっています。その高校の担任の先生がいろんな行事を提案してくれたんですけど、もともと僕の高校では体育祭が何十年もなかったんですよ。その中で体育祭を復活させてくれたり、であったりだとかその他にも行事を増やしてくれて、僕たちが一番楽しめるように、高校生活を送れるように提案してくれたのが、高校の先生に影響を受けたきっかけになっています。</p> <p>実際に、私自身、一般企業にまず勤めまして、一度この教員になる夢を諦めかけたんですけど、実際に一般企業で働いている中で、お客さんと話したり、他にも提案したりであったりする中で、人と話すことに魅力を感じてきて、この教員を目指したいと思いました。</p>
進行役	<p>民間企業を経験されているということなんですけども、教員としてその経験がどのように活かされていますか。</p>
西村	<p>私は元々、魚肉練り製品を販売する食品メーカーで営業職として働いていました。営業の中で、例えば市場であったりスーパーであったりといった所に商品を提案したり、説明したりする機会がすごく多かったです。その中で、人間関係というのをすごく大切にされていて、例えば提案する時であったり、相手のことを考えて、相手のニーズを考えて提案することを一番に考えていました。</p> <p>実際にも、こういった教員の中でも子どもたちであったり、保護者の方であったり、一番求められていること、生徒が一番楽しめることを提案していたり、実際に企画して、やってみたりとか、そういったところに活かしていけるのではないかと考えています。</p>
進行役	<p>相手のことを考えて、相手の立場になって考える、ということが大事だということですね。ありがとうございます。</p>

	<p>続いて、京都市立学校で働く魅力について、教えてください！</p>
西村	<p>昨年までは講師として、教壇に立っていました。元々やっていた仕事が営業職というところで、ルーティンワーク、毎日毎日同じ仕事をするというのが多かったんですね。その中で実際に教育現場に立ってみると、毎日違った子どもたちの姿を見ることができて、その中で昨年度、コロナの期間であったりといった時には早く子ども達に会いたいと思うような感覚になりました。実際に生徒が入学してから、年度初めから卒業まで見ていくうちに、やっぱり卒業するときに教師っていいなと思っているのが、魅力を感じています。</p>
進行役	<p>先ほどおっしゃっていた中で、「毎日が違う」とおっしゃっていたんですけども、もう少し詳しくお聞かせいただいてもいいですか？</p>
西村	<p>毎日が違うというのが、4月の年度当初の時と3月の年度末であったり、例えば入学の時から卒業の時であったりと、そういった中で子ども達を見てみると、すごい変化がみられて、やはり授業の中でもクラスの中でも、すごい成長がみられるんですね。1日1日がすごい成長している姿をみることができて、やはりそういったところで毎日、子ども達の成長を目の前で見届けられる、そういったところに違いを感じていると思っています。</p>
進行役	<p>最後の質問になるんですけども、「これから京都市を志願する受験生に対して一言」をお願いします！</p>
西村	<p>いま京都市の教師を目指しているみなさまへ。</p> <p>私自身、一度社会人として一般企業に就職した経験があります。でも、その中でもやはりもう一度教員を目指したいと思ったのが、この教員という仕事に魅力があるからだと思うんですね。</p> <p>なので今、すごい頑張っている方々、おられると思います。いまやっていることは無駄じゃなくて、この力、実際に身に付けた力というのを全面に発揮して、教員として、京都市立学校で一緒に働けたらなと思っています。</p> <p>頑張ってください。</p>